

# Route Press 21st.

## 道21世紀新聞

発行所：内閣府認証 特定非営利活動法人 人と道研究会  
東京都港区虎ノ門4-1-1 虎ノ門パストラル内  
Web http://www.route-press21st.jp



植林による木立に囲まれた「青木邸」。今は、道の駅「明治の森・黒磯」の中核施設

# 今、始まる「緑」の逆襲

## 森と共生する近未来へ

世界的経済危機の中、日本で林業への関心が熱い。雇用の悪化で、農林漁業の就職希望者が急増。オバマ米大統領の「グリーン・ニューディール」政策の波及効果か、トップ人気は林業だ。グリーン・ニューディールは、環境、エネルギー対策に雇用創出を絡めた政策。わが国も日本版グリーン・ニューディール「緑の経済と社会の変革」の策定を公表した。キーワードは共に「グリーン」緑。地球温暖化対策はCO<sub>2</sub>の排出削減、新エネルギー開発と同時に、CO<sub>2</sub>を取り込む緑の回復、にかかる。その原動力は緑化。後世に引き継ぐ国土の保全には人の手入れが不可欠だ。その代表が道路づくりや林業。道の駅も、風力や太陽光発電など環境対策を試行。「緑」に着目する駅も多い。

日本の国土に占める森林面積は約7割、フィンランドに次ぐ世界2位だ。食糧自給率が40%を切って問題になったが「木材自給率は約2割」と林野庁。安価な外材輸入に頼って林業人口が減少、高齢化が拍車をかけ、森林の荒廃が進んだ。世界はエネルギーと環境の両立政

### 木々が素顔見せるとき

#### 道の駅「明治の森・黒磯」

0件に達した。集計では希望職種は林業が最多。次いで農業、漁業の順だ。

大阪市で開いた全国森林組合連合会の相談会には、前年より8割も多い1254人が詰めかけた。

荒野を開拓し、植林によって農場を開いた先駆者を偲ぶ「道の駅」がある。栃木県那須塩原市の道の駅「明治の森・黒磯」に、新版グリーン・ニューディールを見た。

そんな中、自公両党は、森林を再生させることで雇用を創出し、国産材を使った住宅建設などを促す法案を提出する方針。森林再生事業を新たな雇用の場とする狙いだ。廃木材を主原料とするバイオエタノールの製造など、木材の再利用技術開発も支援、山村地域活性化の目玉とする。

政府も1月「地球温暖化問題に関する懇談会」の「環境モデル都市・低炭素社会づくり分科会」(座長・村上周一慶應義塾大学教授)の助言で、環境モデル都市を追加選定。低炭素社会への取り組みにチャレンジする13都市を、関係省庁が連携して支援する。

懇談会メンバーの石田東生筑波大学大学院教授は「モデル都市の皆さんが、地域のためにどんな努力をされるか。成果は携わる人の意欲と情熱にかかっている」と話す。政府が物を買うときのルールを定めた「グリーン購入法」は、文具類は間伐材などの木材を使用、公共工事の資材も間伐材を原料とする、などの優先利用規定だ。環境省も、植林などでCO<sub>2</sub>吸収量が増した分を、企業の生産活動の中から出たCO<sub>2</sub>と相殺することを認め、化石燃料から間伐材への転換を促す。森林吸収分の活用は林業活性化につながる。

農林水産省などが08年12月から行った雇用相談は、1カ月足らずで3000件を突破。人材を確保したい農業法人や森林組合の求人も190

## 「緑の募金箱」を道の駅に設置へ

| 第22号 INDEX |                         |
|------------|-------------------------|
| 1~3        | 道の駅「明治の森・黒磯」            |
| 4/5        | 日本風景街道「こころのふるさと」木曾路、中山道 |
| 6          | 列島保全への課題                |
| 7          | テレワーク層拡大                |
| 10         | 国土学事始め なるほどブリッジ         |
| 11         | 話題の道の駅                  |
| 12/13      | グリーーツーリズム               |
| 14         | 読者の声 おもしろ万葉集            |
| 15         | プレゼント・パズル               |